

平成 28 年度 産業振興センターの主な取組(予定)について

I. 中小企業支援

1. 中小企業資金融資制度

資金ニーズに対しより幅広く柔軟に対応し、利用者の負担を一層軽減することなどを骨子に、平成 27 年度から制度を改正しました。中小企業の経営基盤の強化や創業の活発化につながるよう、引き続き実施していきます。

2. 中小企業勤労者福祉事業（ジョイフル杉並）の運営の見直し

広域化に向けた具体的な協議を行うとともに、広域化を踏まえた事業内容の見直しを行います。

II. 商店街支援

1. チャレンジ商店街支援プログラム等の充実

地域経済の活性化をはじめとした「まち」の課題解決に向けて挑戦意欲のある商店街に対して、各種助成制度により複合的に支援していきます。

- 地域特性にあった商店街支援事業 4 事業 ⇒ 5 事業
- チャレンジ商店街サポート事業 5 事業 ⇒ 6 事業

2. 防犯カメラ設置・装飾灯 LED 化等助成

平成 28 年度も引き続き、防犯カメラの設置や装飾灯 LED 化等の助成を行うことによって、地域住民が安全・安心で快適に買い物することができる商店街環境の整備を促進します。

また、防犯カメラについては、設置・維持管理費に加え、新たに修繕費についても助成を行います。

3. 協働提案事業の実施

空き店舗対策として、杉並区と NPO 法人杉並中小企業診断士会が協働で、「空き店舗マッチング事業」を実施します。

商店街の空き店舗データベースの作成やそれを基に創業者等の出店を誘致する仕組みを構築するとともに、商店街活性化支援を行います。

III. 農業の支援・育成

1. 都市型農業の支援

農業の魅力を体験でき、都市農業の理解を深める取組や、意欲的に農業経営に取り組む農業者の支援を行い、農業経営の安定化と農産物供給を促進します。

- 認定農業者制度の導入
- 農業体験農園の整備・運営費助成
- 営農活動支援費の助成
- 防災兼用農業用井戸の整備助成

2. 杉並産農産物の販路拡大

杉並産の野菜の魅力を多くの区民に発信するとともに、地産地消を推進します。即売会の開催や学校給食での活用などに加えて、病院、事業所の食堂での杉並産野菜の活用を促す事業に取り組みます。また、杉並産の野菜や草花の活

用に関心のある事業者と農業者との引き合わせなどを行います。

3. 成田西ふれあい農業公園の管理運営

区民が気軽に土とふれあい、区内で杉並の農を身近に感じ、農の魅力や食育の場など、都市農地の大切さを学ぶことのできる「成田西ふれあい農業公園」を開園します。

IV. 就労支援

1. 就労支援センターの運営

就労意欲がありながら雇用機会に恵まれない若者等の就労を支援するため、就労支援センターにおいて区内企業や関係部署等との連携を図りながら就労支援を行います。

- 就労支援セミナーの充実
- 交流自治体におけるふるさと就労体験を新たに実施

2. 就職相談会・面接会の実施

- 保育士・介護職などを対象にした就職相談会・面接会を実施

V. 観光促進

1. 中央線あるあるプロジェクト

J R中央線沿線に豊富に集積する観光資源を活用し、杉並区への集客を図る取組として、「中央線あるあるプロジェクト」を引き続き推進し、広域的な情報発信やシンボルイベントの開催等を行います。

- 新聞メディアを活用した広域的なPR
- ホームページ（HP）及びフェイスブック（FB）等による情報発信
- 多言語化の促進
 - ・ 多言語版 HP・英語版 FB の運用
 - ・ 英語版観光マップの配布
 - ・ 飲食店メニューの英語化
- シンボルイベントの開催

2. アニメの振興と活用

国内外に訴求できる有効なツールとして、区内で制作されたアニメを効果的に活用します。

- 杉並アニメーションミュージアム（SAM）の充実・多言語化の推進
- SAM と民間事業者等との連携
- アニメコンテンツを活用した事業の推進
- 公式アニメキャラクター「なみすけ」の普及

3. その他の観光事業

- （仮称）杉並体験ツアー事業の実施
- （仮称）すぎなみ観光大使事業の実施
- 観光情報発信の推進
- 「杉並区観光事業に関する基本的な考え方」の策定
- フィルムコミッションの運営
- 「杉並ナンバー」の普及・促進
- 区 HP 「すぎなみ学倶楽部」の運営